

ふくはる香 (イチゴ)

＝福島県農業総合センター＝

「ふくはる香」の特徴

- 草姿は立性で草勢が強い。厳寒期の草勢の低下が少ない。
- 糖度は高く、酸度がやや高く、食味が良好である。
- 花房の発生は連続しており、収量が安定している。
- 果皮の色は鮮紅、果形は長円錐、果肉色は淡紅、果実の光沢は良い。
- 花房当たりの花数は「女峰」よりも少ないが、着果した果実が無駄なく肥大し、収穫調製作業の省力化になる。
- 収穫開始時期 促成栽培の時期(9月中旬定植) 1月上旬～ (女峰より10日遅い)
- 県内の適応作型 促成栽培



- 「ふくはる香」という名前には、「ふくしまの春の息吹と甘い香りをいち早く消費者に届け、幸福感とともに味わいたい」という意味を込めています。

育成の経過

この品種は、県農業試験場(郡山市)において、「章姫」を母に、「さちのか」を父として平成7年に交配、以後選抜を重ね、平成14年に育種目標とする特性を確認して、育成を完了しました。

平成 7年	交配 (母)「章姫」 × (父)「さちのか」
平成 8年	以後選抜を重ねる。
平成14年	育種目標とする特性を確認して育成完了

